

令和7年8月22日(金)に第1回療育研修会を行いました。

お忙しいところ、大変多くの方に参加いただきありがとうございました。

今回は越前市共催のもと、越前市で開催することができ、嶺南からも多くの方に参加していただきました。今後も多くの方に参加していただける療育研修会となるよう市町との共催を含め、様々な開催方法を検討して参りたいと思います。

また、早期に定員に達し参加いただけなかった方も多いため、今回の講演をオンデマンド配信する予定としております。方法については改めてご案内いたします。

次回、第2回療育研修会は令和6年10月19日(日)に開催予定です。

詳細については近づきましたらHPでご案内いたします。多くのご参加をお待ちしております。

【第1回療育研修会開催報告】

・開催日:令和6年8月22日(金)

・会場:越前市市民プラザたけふ、4階 多目的ホール

・内容:

テーマ『今、知りたい!療育センターのこと』

講演①「診断(特性)について」(こども療育センター保護者向け外来講座より)

福井県こども療育センター 小児科医 熊野 麻美

講演②「発達検査からわかること」

福井大学学術研究院教育・人文社会系部門准教授 心理士 藤岡 徹先生

講演③「作業療法士の視点と評価」

こども療育センター作業療法士 吉村 あかね

講演④「言語聴覚士の視点と評価」

こども療育センター言語聴覚士 笠原 恵

第1回はなかなか知っていただく機会のない療育センターでの診療にフォーカスをあて、小児科医、心理士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの視点で療育センターでの診療についてお伝えする機会を設けさせていただきました。講演①では、療育センターで保護者向けに行っている外来講座のなかから、発達障害の診断、特性についての基本的な知識からお子さんへのかかわりなどを抜粋してお話しました。講演②では、アセスメントの必要性から発達検査結果の捉え方まで普段聞けない話を心理士の藤岡先生からしていただきました。

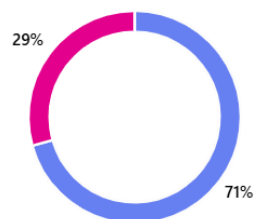
講演③、講演④では作業療法士、言語聴覚士それぞれの役割、診療の内容、どのようなポイントでお子さんをみているかなどをお話しました。

・参加人数：175名

【アンケート結果】

①講義について

● とても参考になった	41
● 参考になった	17
● あまり参考にならなかった	0



②参加者の声（一部）

- ・どのように診断されているのか、よく分からず不安だったが、項目を細かく教えて頂いて、勉強になった。
- ・療育が必要な子が増える日々ですが、なかなか療育の内容を知る機会がないので、今回はよい機会となりました。スライドも参考になりましたが、もしできたら動画などがあるととっても分かりやすいのかなと思いました。
- ・少し難しく感じた
- ・関係機関の連携の必要を強く感じているところでしたので、お話を伺えて、その一歩と思えました。
- ・療育センターでの取り組みを参考に今後の支援について検討できたらと思った。
- ・支援が必要な子どもたちにどのような支援ができるか、直接お話できる機会があるとうれしい。
- ・現在関わっている子どもの、得意は何か？苦手は何か？を理解するための視点を学ぶことができました。もう一度発達について勉強しようと思いました。
- ・全体を通して、特性をもつ子どもたちに寄り添った、親身になった発表だと感じました。療育センターでどのように支援しているかがわかり、大変ためになりました。
- ・療育センターで具体的にどのような検査や療育をしているのか知れてよかったです。
- ・検査結果などの書類はもらった時点で、言葉の意味は調べて、これからどうしていこうか考えています。そのため、もう少し具体的な事例がほしかったです。こういった結果の場合は、こんな対応をしている、したほうが良いことを知りたかったです。

・会場の様子

